

2025年6月27日

ローム株式会社

日本全国にオーケストラの音楽をお届けする特別企画第9弾は北海道にて開催！

ROHM MUSIC FOUNDATION 30TH ANNIVERSARY PROJECT Vol.9

札幌交響楽団 プレミアム・コンサート in 札幌

ローム株式会社(本社:京都市)が支援する公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション(京都市)は、財団設立30周年を記念して開始した、全国でオーケストラのコンサートを開催する「ROHM MUSIC FOUNDATION 30TH ANNIVERSARY PROJECT」(以下、「本プロジェクト」)のVol.9を2025年10月13日(月・祝)に札幌にて開催いたします。

本プロジェクトは、これまでに京都、福岡、仙台、倉敷、浜松、名古屋、熊本、宮崎で開催され、多くのお客様にお楽しみいただきました。オーケストラの素晴らしい演奏はもちろん、過去に財団の音楽家育成事業に関わり、現在国内外で活躍する音楽家「ローム ミュージック フレンズ」によるソロも披露しています。

今回の公演も岩代 太郎作曲の設立30周年記念作品「東風慈音ノ章」で幕を開けます。続いて、ローム ミュージック フレンズであり、フランツ・リスト国際ピアノコンクールでアジア人男性初優勝を飾ったピアニスト・阪田 知樹をソリストに迎え、ラヴェルの協奏曲を披露します。プログラムのメインには、サン＝サーンスの名曲であるパイプオルガンを使用した壮大な交響曲第3番を、東京国際音楽コンクールで最高位を受賞し、さまざまな国内オーケストラでポストを持つ川瀬 賢太郎の指揮でお届けします。演奏前には、司会の松本 志のぶが楽しく楽曲を解説するプログラムもご用意しています。さらに、当日の公演の様様を視聴できるアーカイブ配信では、コンサートのスペシャルゲスト市川 紗椰による配信限定企画もお楽しみいただけます。

ローム ミュージック ファンデーションの30年以上にわたる音楽文化支援活動で得た絆が生み出す豪華プログラムをお楽しみください。

■第9回公演概要



名 称 : 札幌交響楽団 プレミアム・コンサート in 札幌
 日 程 : 2025年10月13日(月・祝) 15:00開演(14:00開場)
 会 場 : 札幌コンサートホールKitara 大ホール(札幌市)
 出 演 者 : 指揮 / 川瀬 賢太郎
 ピアノ / 阪田 知樹
 管弦楽 / 札幌交響楽団
 司会 / 松本 志のぶ
 スペシャルゲスト / 市川 紗椰
 料 金 : S席/4,000円、A席/3,000円、B席/2,000円
 チケット販売 : 2025年6月27日(金)
 チケットぴあ他にて販売開始
 主 催 : 公益財団法人ローム ミュージック ファンデーション
 共 催 : 北海道新聞社

<プログラム>

岩代 太郎：東風慈音ノ章 ～ローム ミュージック ファンデーション設立30周年記念 委嘱作品～
 M.ラヴェル：ピアノ協奏曲ト長調 (ピアノ独奏: 阪田 知樹)
 C.サン＝サーンス：交響曲第3番 ハ短調 Op.78「オルガン付き」(オルガン奏者: 石丸 由佳)

■コンサートのポイント

・本プロジェクトのために委嘱した岩代 太郎作曲の作品を演奏。

世界初演動画(ダイジェスト)はこちら<<https://youtu.be/o9ZnHbDusbU?si=2KVdgVwU--xY711n>>

・ソリストの阪田 知樹(ローム ミュージック ファンデーション2019, 2020年度奨学生)はフランチ・リスト国際ピアノコンクールで優勝、世界三大音楽コンクールの一つであるエリザベート王妃国際音楽コンクールピアノ部門にて上位入賞するなど、世界から注目されている若手ピアニストのひとり。指揮者は、東京国際音楽コンクールで最高位を獲得し、国内オーケストラの音楽監督も務める川瀬 賢太郎。

・クラシック愛好家だけではなく幅広い方々にお楽しみいただけるよう、司会の松本 志のぶが楽曲を解説。

<アーカイブ配信について>

クラシック専門ストリーミングサービス「カーテンコール」にて、1か月間の期間限定でコンサートのアーカイブ配信を実施いたします。アーカイブ配信特別企画として、モデル・タレントの市川 紗椰さんがナビゲーターとして「街の音」をテーマに札幌市ならではの場所を訪れるコーナーや出演者へのインタビューもご用意。

配信チケット料金 : 500円(コンサートの来場者のみ限定割引あり。詳細は添付のチラシをご参照ください。)

配信期間 : 2025年10月22日(水)15:00~2025年11月22日(土)23:59

配信サイト : クラシック専門ストリーミングサービス「カーテンコール」 <<https://curtaincall.media/>>

■ 30周年記念委嘱作品について

①タイトル

<日本語表記> 東風慈音ノ章(こちじおんのしょう) Rohm Music Foundation 30th Anniversary Work

<英語表記> The Chapter of KOCHI-JION Rohm Music Foundation 30th Anniversary Work

②作曲者 コメント

以前から幾度となく、異国の地で「たった一人の日本人メイン・スタッフとして」映画や映像制作の現場に参画してまいりました。特にアジア圏内の制作現場では、歓迎の視線、そして嫌悪の視線が交差する現場も決して珍しくありません。そんな折、私は関係者の人々に、「慈愛」「敬愛」の念をもって誠意を尽くすことで、結果、多くの友人に恵まれてきました。「敬う」「慈しむ」という心情は、ほぼ誤解なく伝わるものだと自負しています。因みに「愛情」や「礼節」だけではダメなのです。それは、相手が求めているカタチでなければ、伝わらず、受け止めてもらえないことさえあります。夫婦間や恋人同士であっても、「愛情」や「礼節」の掛け違いから喧嘩になることもあるほどですから。改めて言うまでもなく「愛情」や「礼節」が争いや戦争のきっかけになってきたことは、誰もが歴史から学べるところでしょ。

世界の分断が日に日に増し、不穏な空気感が漂っている今、極東に位置する私たち日本が、明日に向かって何を成すべきか、そんな想いを敢えて「祝典曲」に込めたいと思いました。

「音楽」が成就する為には「平和」が必要です。

「音楽」は「心」にしか宿りません。

そんな様々な明日への想いを込めて、「東風慈音ノ章」と名づけさせて戴きます。

<作曲者プロフィール>

岩代 太郎

東京藝術大学大学院修了。国内外を問わず数多くの映像作品の音楽を担当。映画「血と骨」「春の雪」「蝉しぐれ」「利休にたずねよ」「Fukushima 50」「キネマの神様」で日本アカデミー賞優秀音楽賞、「闇の子供たち」で毎日映画コンクール音楽賞を受賞。またジョン・ウー監督「レッドクリフ」「The Crossing」「Manhunt」、ポン・ジュノ監督「殺人の追憶」も手掛ける。TVでもNHK連続テレビ小説「あぐり」、大河ドラマ「葵・徳川三代」「義経」なども担当。2018年より、演劇と音楽のあたらしいカタチの舞台「奏劇」を企画し、自らの原案・作曲・演奏で公演を行っている。また自ら主宰してNPO法人「オトブミ集〜絆」を立ち上げ、社会貢献活動にも取り組んでいる。



©Rowland Kirishima

■ROHM MUSIC FOUNDATION 30TH ANNIVERSARY PROJECT 特設WEBサイトについて

ローム ミュージック ファンデーションWEBサイト内に特設WEBサイトを設置し、本プロジェクトの概要や各地の公演情報等を随時更新しています。

過去公演のダイジェスト動画も掲載していますので、ぜひご覧ください。

(各公演情報内の「ダイジェスト動画はこちら」をクリックするとご覧いただけます。)

<<https://www.rmf.or.jp/jp/30th-project/>>

■ローム ミュージック フレンズについて

ローム ミュージック ファンデーションは様々な事業で若い音楽家の育成を図っており、その事業の中で関わった音楽家を「ローム ミュージック フレンズ」(5,121名:2025年6月時点)として、ともに音楽を届ける仲間となっ
ていただいています。

事業名	内容
奨学援助 (1991年度～)	国内外の教育機関で音楽を学ぶ学生への奨学金の支給。 現在までに574名を支援。
音楽在外研究援助 (1993年度～2014年度)	音楽家の一層の研鑽を図るための在外研究を援助。 現在までに64名を支援。
音楽セミナー (1992年度～)	プロの音楽家の育成を目的としたセミナー。これまでに弦楽器クラス、管楽器クラス、指揮者クラスを実施し、現在までに333名が受講。
ローム ミュージック セミナー (2019年度～)	世界で活躍するローム ミュージック フレンズによる音楽家育成セミナー。 宮田大・チェロクラス、山田和樹・指揮クラスを実施し、現在までに14名が受講。
京都・国際音楽学生フェスティバル (1993年度～)	国際交流と音楽家の育成を目的として、世界を代表する音楽学校から音楽学生を京都に招いて開催するフェスティバル。 現在までに国内外から2,734名が出演。
RMF&山田和樹 グローバル プロジェクト (2024年度～)	日本の音楽家が今よりも更に世界中で活躍する未来を作ることを目的に、グローバルに活動を展開する育成プロジェクト。 現在までに3名が参加。
小澤征爾音楽塾 (2000年度～)	小澤征爾氏の「若い音楽家を育てたい」という熱い思いで始まったオペラやオーケストラの公演を通じて若手音楽家の育成を図る教育プロジェクト。 現在までに1,672名が出演。

※ローム ミュージック フレンズは複数事業に関わった方がいるため、各事業の人数と合計人数は一致しません。

以上

ROHM MUSIC FOUNDATION 30TH ANNIVERSARY PROJECT (Vol.9)

札幌交響楽団 プレミアム・コンサート in 札幌



ローム ミュージック ファンデーション設立30周年記念 委嘱作品
岩代太郎 / 東風慈音ノ章

M.ラヴェル/ピアノ協奏曲 ト長調

C.サン=サーンス/交響曲 第3番 ハ短調 Op.78
<オルガン付き>*

*オルガン奏者:石丸 由佳



川瀬 賢太郎
(指揮)



阪田 知樹
(ピアノ)



松本 志のぶ
(司会)



市川 紗椰
(スペシャルゲスト)

2025.10/13 [月・祝] 札幌コンサートホール Kitara 大ホール

15:00 開演(14:00 開場)

〒064-8649 札幌市中央区中島公園1番15号 TEL.011-520-2000

全席指定 S席:4,000円 A席:3,000円 B席:2,000円

公演チケットお取り扱い

道新プレイガイド TEL. 0570-00-3871 / <https://doshin-playguide.jp>

〒060-0061 札幌市中央区南1条西1丁目8-2 高森ビル MARUZEN&ジュンク堂書店札幌店 地下1階

セイコーマート 店内マルチコピー機 [セコマコード:C25101301]

札幌市民交流プラザチケットセンター(北1西1 札幌市民交流プラザ2階) ※窓口販売のみ
[営業時間:10:00~18:00 水曜・休館日を除く]

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード:300-951]

ローソンチケット <https://l-tike.com> [Lコード:11691]

Kitara チケットセンター TEL. 011-520-1234

特設サイトのご案内

「ROHM MUSIC FOUNDATION 30TH ANNIVERSARY PROJECT」
特設サイトでは、本プロジェクトの概要や各地の公演情報等を随時更新しています。
過去公演のダイジェスト動画も掲載していますので、ぜひご覧ください。



主催:公益財団法人 ロームミュージックファンデーション 共催:北海道新聞社

※チケットは全席指定・消費税込です。※未就学児のご入場はご遠慮ください。※都合により出演者、曲目が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

札幌交響楽団©Y.Fujii 川瀬 賢太郎©Tomoko Hidaki 阪田 知樹©Ayustet

アーカイブ配信のお知らせ

コンサートの様子と、市川紗椰がナビゲートする限定企画を後日配信予定!
詳細は、裏面をご覧ください。



Vol.8 宮崎公演配信映像より

公演内容に関するお問い合わせ

道新プレイガイド TEL. 0570-00-3871 (10:00~19:00 火曜定休)

ROHM MUSIC FOUNDATION 30TH ANNIVERSARY PROJECT

公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーションは、京都市に本社を置く半導体・電子部品メーカーであるローム株式会社および創業者の佐藤研一郎(1931年~2020年)が中心となって1991年に設立され、若手音楽家の育成やコンサート支援など音楽文化の普及と発展のためさまざまな活動を行っており、2021年に設立30周年を迎えました。設立30周年を記念し、この活動をより拡げるために音楽の素晴らしさを伝えるオーケストラのコンサートを全国各地で開催しております。各地のオーケストラとともに、ローム ミュージック ファンデーションが過去に若手音楽家育成事業に関わり、現在国内外で活躍する音楽家「ローム ミュージック フレンズ」の出演や、設立30周年を記念した委嘱作品の演奏など華やかなプログラムをお届けします。

札幌交響楽団 Sapporo Symphony Orchestra (管弦楽)



©Y.Fujii

1961年発足。北海道唯一のプロ・オーケストラとして、「札幌」の愛称で親しまれている。透明感のあるサウンドとパワフルな表現力は雄大な北海道にふさわしいオーケストラとして広く知られる。歴代指揮者は名誉創立指揮者の荒谷正雄、ベーター・シュヴァルツ、岩城宏之、秋山和慶、尾高忠明、マックス・ボンマー、ラドミル・エリシユカ、マティアス・パーメルトなどが務めた。現在は名誉音楽監督 尾高忠明、友情指揮者 広上淳一、首席客演指揮者 下野竜也、正指揮者 川瀬賢太郎を擁し、今年4月には首席指揮者としてエリアス・グランディが就任した。年間約120回のオーケストラ・コンサートをを行うほか、積極的に地

域活動に参加し、小編成での教育福祉活動を北海道全域で展開している。60年以上の歴史の中では50周年のヨーロッパツアーなど節目ごとに海外公演を行い、これまでにアメリカ、英国、ドイツ、イタリア、東南アジア、韓国、台湾を訪問、各地で好評を博した。北海道を拠点に世界に発信するオーケストラとしてますますの充実を目指す。

岩代 太郎 Taro Iwashiro (作曲)



©Rowland Kirishima

東京藝術大学大学院修了。国内外を問わず数多くの映像作品の音楽を担当。映画「血と骨」「春の雪」「蝉しぐれ」「利休にたずねよ」「Fukushima 50」「キネマの神様」で日本アカデミー賞優秀音楽賞、「闇の子供たち」で毎日映画コンクール音楽賞を受賞。またジョン・ウー監督「レッドクリフ」「The Crossing」「Manhunt」、ポン・ジュノ監督「殺人の追憶」も手掛ける。TVでもNHK連続テレビ小説「あぐり」、大河ドラマ「葵・徳川三代」「義経」なども担当。2018年より、演劇と音楽のあたらしいカタチの舞台「奏劇」を企画し、自らの原案・作曲・演奏で公演を行っている。また自ら主宰してNPO法人「オトブミ集〜絆」を立ち上げ、社会貢献活動にも取り組んでいる。



©Tomoko Hidaki

川瀬 賢太郎 Kentaro Kawase (指揮)

東京生まれ。2007年東京音楽大学音楽学部音楽学科作曲指揮専攻(指揮)を卒業。これまでに指揮を広上淳一氏などに師事。2006年第14回東京国際音楽コンクール<指揮>において第2位(最高位)に入賞。2011年4月には名古屋フィルハーモニー交響楽団指揮者に就任、2014年4月より8年間神奈川フィルハーモニー交響楽団常任指揮者を務めた。卓越したプログラミングで躍動感あふれる演奏を聴衆に届けている。オペラにおいても、細川俊夫作曲「班女」、「リアの物語」、モーツァルト作曲「フィガロの結婚」、ヴェルディ作曲「アイダ」などを指揮し、目覚ましい活躍を遂げている。2015年渡邊暁雄音楽基金音楽賞、2016年第14回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第26回出光音楽賞などを受賞。現在、オーケストラ・アンサンブル金沢パーマネント・コンダクター、札幌交響楽団正指揮者、東京音楽大学作曲指揮専攻(指揮)特任講師、三重県いなべ市親善大使。2023年4月より名古屋フィルハーモニー交響楽団第6代音楽監督に就任。



©Ayustet

阪田 知樹 Tomoki Sakata (ピアノ)

ローム ミュージック フレンズ<2019, 2020年度奨学生>

2016年フランツ・リスト国際ピアノコンクール第1位、6つの特別賞。2021年エリザベート王妃国際音楽コンクール第4位入賞。第14回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールにて弱冠19歳で最年少入賞。クリーヴランド国際ピアノコンクールにてモーツァルト演奏における特別賞、キッシンゲン国際ピアノオリンピックでは日本人初となる第1位及び聴衆賞。国内はもとより、世界各地20ヵ国以上で演奏を重ね、国際音楽祭への出演多数。2015年CDデビュー、2020年3月、世界初録音を含む意欲的な編曲作品アルバムをリリース。阪田知樹ピアノ編曲集「ヴォカリーズ」を2022年5月に、「夢のあとに」を2023年7月に、阪田の作曲した「アルト・サクソフォーンとピアノのためのソナチネ」を2023年11月に音楽之友社より出版。内外でのテレビ・ラジオ等メディア出演も多い。2017年横浜文化賞文化・芸術奨励賞、2023年第32回出光音楽賞、第72回神奈川文化賞未来賞を受賞。



松本 志のぶ Shinobu Matsumoto (司会)

静岡県浜松市出身。上智大学外国語学部卒業後、日本テレビに入社。「24時間テレビ」総司会、「行列のできる法律相談所」レギュラーMC、「ズームイン!!朝!」、五輪現地キャスターなどを務め、報道・情報・ニュース・バラエティ各種番組で活躍。2009年よりフリーアナウンサーとして、TBS「教科書にのせたい!」レギュラーMCなども務め、また、テレビだけでなく、報知新聞「報知映画賞」選考委員や、クラシックコンサートの司会、子どものための読み聞かせコンサートでの朗読、洗足学園音楽大学客員教授を務めるなど、活動の場を広げている。



市川 紗椰 Saya Ichikawa (スペシャルゲスト)

アメリカ・デトロイト育ち。16歳の時にスカウトされ雑誌の専属モデルとしてデビュー。以来、数多くのファッション誌で活躍。趣味は音楽、読書、アニメ鑑賞、鉄道、アート、相撲、食べ歩きなど多岐にわたる。NHK-FM「×(かける)クラシック」(毎週日曜14:00~15:50)ではMCとして活躍している。

アーカイブ配信のお知らせ

1か月間の期間限定で、本公演の様子を後日記信いたします。豪華出演者による贅沢なプログラムを期間中何度でもお楽しみいただけるほか、スペシャルゲストとして公演にも出演する市川紗椰が、公演地ならではの「音」をテーマに札幌市の名所をご紹介しますコーナーや、出演者インタビュー等の配信限定企画もご用意。さらに、公演にご来場のお客様は、会場にて特別価格でご購入いただけます。(※公演当日に限り)

配信期間: 2025年10月22日(水)~11月22日(土)

料金: 一般価格/500円 来場者限定価格/400円

配信サイト: クラシック専門ストーリーミングサービス カーテンコール

<https://curtaincall.media/>

※視聴方法に関するお問い合わせはカーテンコール <https://curtaincall.media/contact> まで



ローム ミュージック ファンデーションは、かつてピアニストを目指していたローム株式会社の創業者である佐藤研一郎が中心となって設立した、音楽文化支援活動を行う公益財団法人です。奨学援助や学ぶ機会を提供するセミナーの実施、ローム ミュージック フェスティバルをはじめとするコンサートの開催、近年では「ローム ミュージック チャンネル」にてオンラインでの映像配信などを実施しています。これからも、音楽を通して豊かな文化づくりに貢献していきます。